

タイトル 令和2年度 沼津市山口源新人賞の中止について**担当 教育委員会 文化振興課****直通 055-934-4812 内線 2792****1 内容**

戦後の日本現代版画界を代表する一人で、本市ゆかりの版画家・山口源を顕彰する目的で設けられた「沼津市山口源新人賞」ですが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、賞の選考を依頼している一般社団法人 日本版画協会「版画展」の開催が中止になりました。それに伴い、沼津市山口源新人賞の決定も見送られることとなりました。

2 山口源賞の経緯・目的

本市では昭和55年、沼津信用金庫より文化振興を目的として受領した寄付金1,000万円を原資に、山口源氏の遺作版画を購入しようとしたところ、昭和56年、山口源氏の遺作328点が遺族より市へ寄贈されたため、更に市費1,000万円を加えた上で「沼津市芸術文化振興基金」を設立しました。

昭和58年4月、市制60周年を契機として山口源氏を顕彰すること、及び市民の芸術文化の向上発展に資するため、芸術文化振興基金の運用を開始しました。以来、「山口源賞」を制定して国内版画界において優れた業績を挙げた作家（作品）に賞を贈呈しています。

「沼津市山口源新人賞」は、日本版画協会「版画展」の出品作品から将来性の認められる作品に対して、昭和58年から毎年授与していましたが、今回、初めて中止となりました。

3 「山口源」について

1896年富士市で生まれる。本名は山口源吾。1944年に沼津市江浦に疎開し、以来亡くなるまで江浦で制作活動が続ける。戦後は日本の抽象木版画の先駆者の一人として活躍し、1958年スイス・ルガノ国際版画ビエンナーレで「能役者」が日本人初のグランプリを受賞、国際的版画家の地位を不動のものにした。

1976年7月永眠、享年79歳。

1995年、山口源氏の版画制作に関する遺品が沼津市に寄贈され、アトリエ跡に「山口源の碑」が建立された。沼津市民文化センター小ホール緞帳には「能役者」の絵柄が使われている。